

# PSS REPORT 2014

JASDAQ

東証JASDAQ上場

証券コード：7707

## 第29期 事業報告書

平成25年7月1日 &gt;&gt;&gt; 平成26年6月30日



Precision System Science Co., Ltd.

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

### ▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗について報告させていただきます。

#### 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、「いつでも、どこでも、誰でも」取り扱えるバイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用する事により、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂く事です。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かす事、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計1万台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わる事だと考えています。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表取締役社長

田島 秀二

#### 業績について

第29期（H26/6）決算について⇒参照 連結財務ハイライト

第29期業績は、対前期比若干の減収になりました。費用面では、新規製品の開発及び事業化推進のため、人員増加、研究開発費及び特許関連費用の増加を招き、販売費及び一般管理費が大きく増加しました。特に、上市を控えた全自動遺伝子診断システム（geneLEAD）などの新製品の開発を加速して、研究開発費はほぼ前期比倍増したことにより、営業及び経常利益の黒字化は達成できませんでした。しかしながら、子会社PSSキャピタルが運営するバイオコンテンツファンドによる有価証券売却益の特別利益により、当期純利益の黒字化並びに配当を実施できる事になりました。

#### 中期事業計画見直しについて

⇒参照 トピックス

事業フィールドは研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定いたしました。第29期は、その初年度でしたが、残念ながら、売上・利益計画などの数値目標は達成できませんでした。臨床診断分野の装置開発は、当社の予想以上に時間と費用を費やす結果となり、当初の計画に比べると約1年程度遅れる形で数値目標について慎重な見直し作業を行いました。当社の運営方針やビジネスの方向性はそのままであり、実際の事業内容、研究開発内容などに変更はありません。

第30期においては、中期事業計画に沿って計画通りに新製品の上市に向けた開発活動と大館試薬センターの立ち上げ、臨床許認可（FDA、IVD等）対応を進める事により、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実にみせていくよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

#### PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置  
geneLEAD I



- PSSの目指すバイオ診断分野

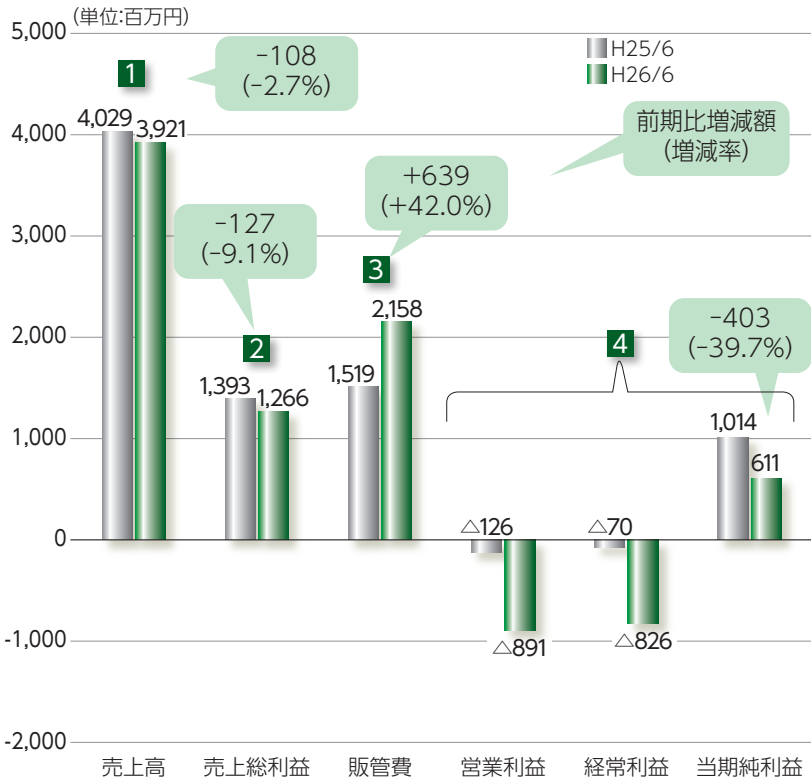
更に詳しい内容のPSSHPコンテンツ

PSSWebサイト>早わかりPSS



第29期(H26/6)連結業績について

- 営業及び経常利益の黒字化は達成できませんでした。
- 特別利益の実現により、当期純利益は黒字化しました。
- 1株当たり7.5円の配当を実施（連結配当性向22.4%）しました。

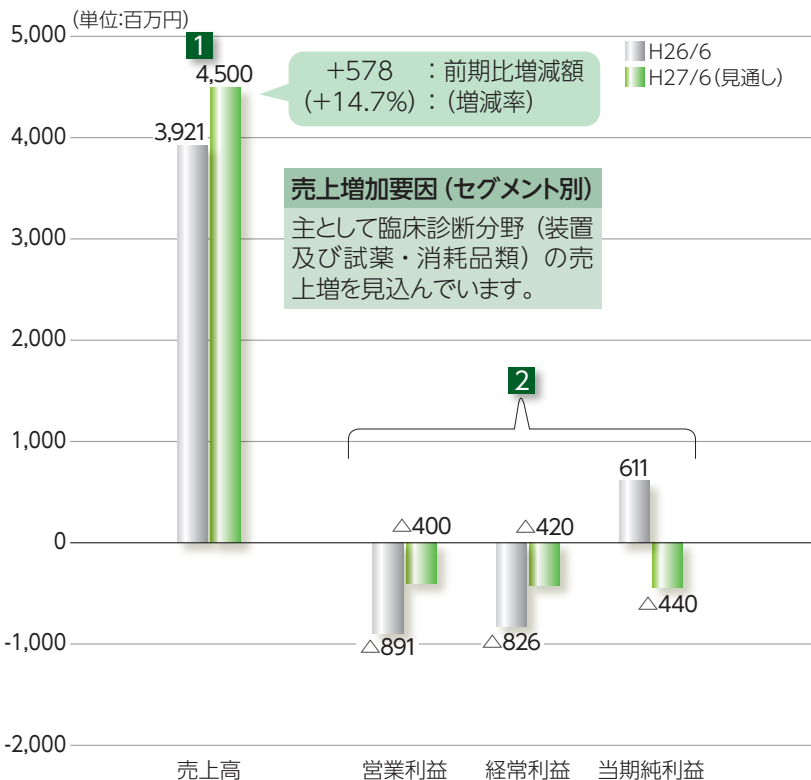


◆第28期(H25/6)業績比

- ▶**若干の減収**  
①OEM取引全体は前期並みに推移  
②製造子会社エヌピーエス (NPS) の外部売上 (PSSグループ向け販売を除く) 計上するも当初見直しには達しなかったもの。
- ▶**売上総利益の減少**  
新規製品の上市のために、追加費用が発生した事によるものです。
- ▶**販管費の増加**  
新規製品の開発及び事業化推進のため、人員増加、研究開発費及び特許関連費用の増加を招き、販売費及び一般管理費が大きく増加しました。特に、上市を控えた全自動遺伝子診断システム (geneLEAD) 等の新製品の開発を加速したことにより、研究開発費はほぼ前期比倍増しました。
- ▶**営業及び経常利益は赤字**  
▶**有価証券売却益の実現による特別利益により当期純利益の黒字化及び配当実施**  
バイオコンテンツ投資事業有限責任組合の投資先である株式会社リプロセルが株式上場し、保有株式を売却したことによるものです。それに伴い、特別利益として有価証券売却益3,822百万円が発生いたしました。

第30期(H27/6)連結業績見通しについて

- 前期比大幅増収の見込みです。
- 営業利益、経常利益は赤字見通しとなるも、赤字幅は前期比大幅の改善見込みです。
- なお、為替の見通しは、1ドル=100円、1ユーロ=135円にて算定しております。



◆第29期(H26/6)業績比

- ▶**売上拡大**: ①エリテックグループとの提携によるgeneLEADの販売展開 (DNA抽出試薬含む) ②アボットグループ向けの検体前処理システム (2機種) の開発及び製品販売
- ▶**売上総利益改善**: NPSを中心とした製造委託先との協力のもとに製造原価の改善に継続的に努めます。
- ▶**販管費改善基調**: 新規製品の開発及び事業展開に備えた開発費等の第29期からの増加基調を第30期上半期まで見込んでおり、下半期にはその増加基調は解消する見通しです。
- ▶**業績は赤字の見通し**: 前期比増収見込みも上半期の費用増加要因を賄う事ができず、業績は赤字の見通しです。但し、営業及び経常利益の赤字幅は前期比改善の見込みです。

更に詳しい内容のコンテンツ

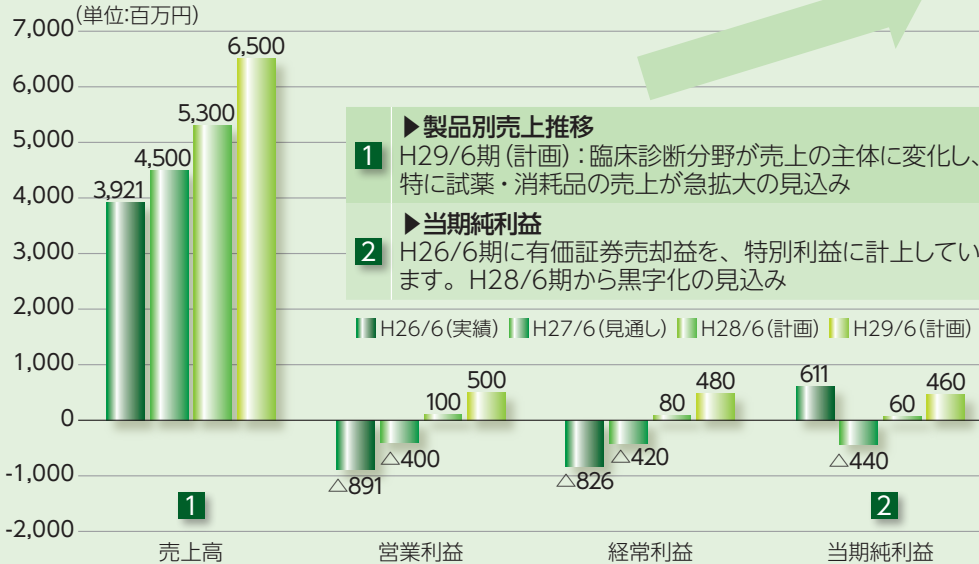
PSSWebサイト > 投資家の方へ



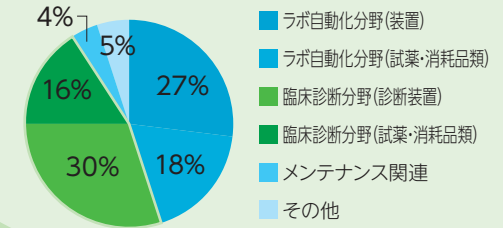
## ■ 中期事業計画（平成27年6月期～平成29年6月期）策定に関するお知らせ（平成26年8月14日）

平成25年8月9日に発表した3か年中期事業計画について現状の事業の進捗を鑑みて見直しを行い、新たに中期事業計画を策定しました。

当期は、その初年度でしたが、残念ながら、売上・利益計画などの数値目標は達成できませんでした。臨床診断分野の装置開発は、当社の予想以上に時間と費用を費やす結果となり、当初の中期計画に比べると約1年程度遅れる形となりますが、当社の運営方針やビジネスの方向性はそのままであり、実際の事業内容、研究開発内容などに変更はありません。



## 製品別売上：H29/6期(計画)



## ■ 中期事業計画の概要

- 3か年計画  
(分野別、損益計算書)
- 遺伝子診断市場動向  
従来の研究用途中心から臨床診断用途へシフト
- PSSの事業分野・戦略  
装置中心から、試薬も含めた新規製品の追加により、事業成長を加速

更に詳しい情報は？

PSSWebサイトより

- 中期事業計画策定のお知らせ  
(平成26年8月14日)

## ■ PSSの新規事業(新製品)展開について説明します！

平成26年12月頃東京にて開催の予定です。  
(詳細内容はPSSWebサイト及びIRメールより案内を行います。)

## ■ 事業の進捗について

### PSSの子会社、ジェネティンが、NEDO新規プロジェクト

「再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発」の委託先として採択される  
(平成26年5月15日)

### NEDOプロジェクト「体液中マイクロRNA測定技術基盤開発」の委託先として採択(平成26年6月12日)

米国Rokaと食品検査向け遺伝子検査システムについてOEM供給契約を締結(平成26年8月8日)

## ■ (試薬事業推進) 大館試薬センター新設

### 大館試薬センター竣工式のご報告(平成26年6月4日)

平成26年6月4日(水) PSS大館試薬センターの竣工式が、秋田県大館市にある製造子会社NPSの敷地内で開催されました。

今回の竣工式においては、橋口秋田県副知事並びに小畑大館市長を始めとした事業誘致関係者、施設工事関係者、並びに製造協力会社の皆様方にご参加頂きました。当日は、秋本常務取締役よりこれらお世話になった方々に対してあらためて感謝の言葉を述べた後に今後のPSSの事業展開について説明をさせて頂きました。



説明会会場に行けない方は？

PSSWebサイトからも説明会動画を、閲覧できるようにする予定です。

## ■ 組織改革について

### 機構改革及び役員人事異動のお知らせ(平成26年6月23日)

今後の海外を含めた臨床診断市場への事業展開や試薬事業の本格的な立ち上げに備えて、機構改革と人事異動を実施しました。

## ■ 会社定款に自己株式の取得の規定を新設

### 定款の一部変更に関するお知らせ(平成26年8月14日)

平成26年8月14日開催の取締役会において、「定款一部変更の件」を第29回定時株主総会に付議することを決議しました。

(提案の理由)

会社法第165条第2項の規定により、定款の定めに基づいて取締役会決議による自己の株式の取得が認められており、機動的な資本政策を遂行できるように、定款第8条に自己の株式の取得の規定を新設し、現行定款第8条以下を各1条ずつ繰り下げるものです。

## ■ 雑誌記事掲載のお知らせ

### 日本生命「経営情報2014年8月号」記事掲載のご報告(平成26年7月22日)

「あの日あの時」—危機を好機に変えた技術—

## ■ PSSのCSR活動

### 東京大学五月祭の実験体験型イベントに協賛しました。(平成26年5月17日～18日)

多くの人々に科学の面白さを伝えようとする活動の趣旨とイベントの社会的意義に協賛をしてパンフレットに広告出稿しました。

## 会社概要 (H26/6末現在)

CORPORATE PROFILE

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二  
常務取締役 秋本 淳  
取締役 小幡 公道  
取締役 長岡 信夫  
取締役 池田 秀雄  
監査役 高橋 達雄  
監査役 荻原 大輔  
監査役 平山 伸之

(注) 荻原大輔氏及び平山伸之氏は、会社法第2条第16号で定める社外監査役です。

資本金：2,217百万円

従業員数：170名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含まない。)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)  
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)  
ユニバーサル・バイオ・リサーチ(株) (千葉県松戸市)  
PSSキャピタル(株) (千葉県松戸市)  
バイオコンテンツ投資事業有限責任組合 (千葉県松戸市)  
ジェネティン(株) (千葉県松戸市)  
エヌピーエス(株) (秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムインテグレーター

遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設(ラボ)の自動化や臨床診断分野向けの各種自動化機器の開発及び製造販売、並びにそれら機器に使用される研究用試薬や診断薬、プラスチック消耗品の製造販売等

## 株式の状況

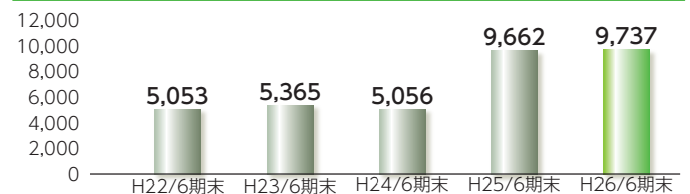
STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株  
発行済株式の総数 18,252,000株  
株主数 9,737名

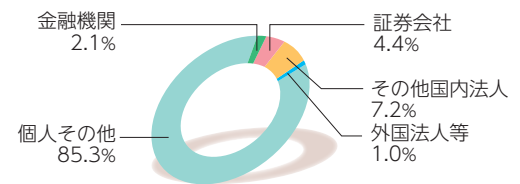
大株主 (H26/6末現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	4,549,200	24.9
有限会社ユニテック	1,200,000	6.5
松井証券(株)	256,300	1.4
日本証券金融(株)	255,000	1.3
高山 茂	191,300	1.0
高橋 計行	166,400	0.9
小幡 公道	134,400	0.7
野村信託銀行(株)	131,100	0.7
プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株(株)SBI証券	130,500	0.7
	121,500	0.6

株主数推移(名)



所有者別保有株式数



## 株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年6月30日  
中間配当金 毎年12月31日

定時株主総会 毎年9月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合*
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		・みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ・みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払・支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 *株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託しなかった場合

## PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

PSSWebサイト>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録下さい。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おき下さい。

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 IR・社長室

▶〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL: 047-303-4800 ▶FAX: 047-303-4810 ▶Eメール: ir@pss.co.jp